

8桁のBINへの移行準備

即時有効 最終施行日は2022年4月です

8桁のBINが業界標準となる変更 (ISO/IEC 7812-1)

- 決済事業は、イノベーションの影響もあり、急速な成長を遂げています。その成長によって、業界には、カードアカウント番号 (PAN) の最初の桁を構成し、決済エコシステム内の関係者に対して金融機関の識別を円滑にする銀行識別番号 (BIN) の可用性を確保すべきではないかと対応を迫られています。BINはVisaのビジネスの基盤であり、国際標準化機構 (ISO) によって管理されています。
- ISOは、将来に向けて最善の方向性を決定するために、世界中から決済業界の関係者を招集し、議論の結果、イシューングBINの桁数を6桁から8桁にすることに合意し、2017年にISOは新しい基準を発表しました。
- Visaとしては業界のこの変更を支持しており、当社のシステムは8桁のBINに対応する準備ができています。2022年4月より、Visaクライアント (加盟店契約会社 (アクワイアラ) およびプロセッサ) のみなさまには、新しいイシューングBINの桁数に対応が求められます。カード発行金融機関 (イシューア) のみなさまは、BIN拡張に対して独自のタイムラインを設定することが可能です。
- 現在、ISOは、新規のBINをリクエストするイシューアに8桁のBINを割り当てています。決済エコシステム内の8桁のBINが今後ますます増加していくことを考えると、8桁のBINに対応して変更を行う加盟店のみなさまには、自社の顧客のニーズの支援ならびに事業構築のための整備・対応をいただくこととなります。新しい8桁のBINに対応する準備ができていない事業者には、顧客とブランドの両方に悪影響をもたらすリスクがあります。

この変更による加盟店への影響

- 多くの関係者が8桁のBINを導入するにつれて、オーソリゼーション、ルーティング (仕向け) および取引精算のためにPANの最初の6桁に依存することはできなくなります。すべてのリスクがすぐに発生するわけではありませんが、新しい8桁のBIN基準を使用する決済事業者が増加するとともにリスクが増える点にご留意いただくことが重要です。障害のポイントと度合いは、イシューングBINの特定の使用方法とサポートするテクノロジーの設定によって異なります。
- 特に、以下のアクティビティに6桁のBINを使用している場合、BIN拡張によって自社の後方システムにどのような影響を与えるかを見極める必要があります。下記にいくつか例を挙げていますが、網羅したリストではありませんのでその点ご注意ください。

- Visaプリペイドの識別
- 不正利用および/またはチャージバック分析
- イシューアの識別
- ルーティング (仕向先)
- フリートカード、特定の種類の法人カードや福利厚生カードなど、独自のBIN範囲

の識別

- キャッシュバック資格の判定
 - 承認率の最適化、オーソリゼーション分析
- 8桁のBIN対応に必要な変更を行わない加盟店では、**重大問題が発生する可能性があります**、その結果、取引の誤ったルーティング（仕向け）、資格のないカード会員へのキャッシュバック、ロイヤリティおよび独自の特典プログラム（8桁のBINに対する）の参加者を特定できずにカード会員へ悪影響（例：特典の喪失、コストの増加）を及ぼすこと、POSアクティビティについて正しく報告できないなどが発生することにもつながります。

準備方法

- 加盟店および加盟店の顧客側で対応が必要な変更の大部分は、**内部または独自のシステム特有のものとなります**。各加盟店は、加盟店契約会社（アクワイアラ）、プロセッサー、ベンダー、第三者機関や、取引処理・ルーティング（仕向け）・ダウンストリームアクティビティをサポートするその他のパートナーと、この変更による影響について評価をする必要があります。
- Visaは、効率を最大化し予期せぬ事態を回避するために、加盟店のみなさまに**積極的に関与**いただき、できるだけ早く**組織全体に及ぶ影響**を評価することをお勧めします。
- 特に下記に該当する場合、プロセッシングシステムまたはダウンストリームシステムに実装されている**6桁のイシューイングBINの固有ロジック**を変更が必要となります。
 - 貴社がPOS環境を管理している
 - 第三者機関へBIN情報を共有している
 - 取引処理において独自のBINテーブルを使用するか、第三者機関から提供されるものを使用している
 - カード番号（PAN）の最初の6桁を使用するシステムロジックがある
 - POS端末で、ハードコードされたBINロジックを使用している
- PCI-DSSにより、保存データを保護する唯一の方法としてPANの最初の6桁とその他の4桁が公開されています。加盟店が最後の4桁だけでなく全8桁のBINの公開を希望する場合は、暗号化、ハッシュ処理、トークン化など、データ保護のために取り扱うことができる他の方法を1つ以上追加する必要があります。加盟店のみなさまは、実装前に資格のあるセキュリティ評価者（QSA）に相談してください。
- 加盟店のダウンストリームシステムおよび処理システムに必要な変更には、長期の時間を要する場合があります。**2022年4月までに準備を整えるために、迅速に同プロジェクトへの対応スケジュールを計画いただき、優先的に対応いただくことが重要**となります。

貴社の計画をサポートするリソース

Visaは8桁のイシューイングBINへの移行に関して、決済業界の関係者と定期的にコミュニケーションを取り連携を続けてまいります。最新情報については以下よりご確認ください。



Visa.comのNumeircs Initiative (英語のみ)

8桁BINの新基準に対して、貴社での分析、計画、移行の推進のために、Visaは本件に対する当社の知見を活かし、ツールをご用意しました。*Numeircs Initiative*については、[Visa.comのNumeircs Initiativeのページ](#)をご覧ください。ディスカバリーインタビューの結果、Numeircs Initiativeの影響アンケート、よくある質問などがございます。定期的に更新をご確認ください。

Visa BIN属性共有サービス (VBASS) (英語のみ)



[Visa BIN属性共有サービス \(VBASS\)](#) とは新しいAPIで、これにより加盟店の処理とチェックアウト体験を向上するためにVisaのBIN属性を共有することができます。加盟店は、加盟店契約会社 (アクワイアラ) またはアクワイアラが支援する第三者機関を通じて、BIN属性データを取得することができます。

ご質問がある場合



BINの8桁への変更が貴社の事業に与える影響についてご質問がある場合、または新しい8桁のBIN 基準に対するVisaの対応に関してご質問がある場合は、加盟店契約会社 (アクワイアラ) に連絡し、影響についてすぐにご相談いただくことをお勧めします。